

平成28年6月30日

第486号

横浜市立日吉台小学校

校長 石坂 由美子

教育目標

みずから生きる
ともに生きる
日吉台の子

ひよしだい



文化の鐘は響くなり

校長 石坂 由美子

少し前から、3年生と4年生が学習の一環としていろいろな人にインタビューをしています。校長室にもかわいいインタビュアーがやってきて、「好きな給食のメニューを教えてください。」「どんな仕事をしているのですか。」「校長先生の仕事で一番大切なことは何ですか。」など、簡単に答えられることから、はっと考えさせられることまで質問されました。ちなみに3番目の質問には、「学校を回ってみんなが頑張っていることをたくさん見つけることです。」と即答しました。その中で校長室にずらっと並ぶ歴代校長の写真に興味を引かれ、「昔の学校のよさを教えてください。」などという質問もありました。

創立記念日(6月24日 今年で創立143周年)も近かったので、これまでに発行させた記念誌を紐解き、私も日吉台小学校の歴史について勉強することにしました。

文久3年(1863年 今から153年前)金蔵寺に、当時の住職岩村真道師によって設けられた寺子屋「清林学舎」が日吉台小学校の前身になります。先生は2名、子どもは120名(一説によると16人)いたそうです。明治6年(1873年)6月24日「清林学舎」は正規の小学校に移行され、その後なんと11回も名称の変更をして昭和22年にやっと現在の「横浜市立日吉台小学校」となりました。

明治43年(1910年)児童数の増加により、現在の場所に移転します。昭和34年児童数が1884名(現在は612名)になったため、下田分校が開設されその3年後に下田小学校が独立します。そして、下田小学校から、日吉南小学校、駒林小学校がそれぞれ独立していくのです。

6月23日(木)に行われた創立記念式では、本校の卒業生で以前横浜市立小学校の校長でもあった星野誉夫さんに当時の様子をお話いただきました。クイズ形式でしたので、子どもたちも一生懸命考えて答え、昔の学校と今の学校の違いに驚いていました。今から60年くらい前(昭和30年代)は1クラスが60名以上で、1・2年生は午前午後の2部授業だったそうです。(その後、下田小学校が開校とします。)そして体育館はなかったとのことでした。

6月23日(木)の創立記念式の日には、学校の象徴でもあった「文化の鐘」を中休みの終わりに鳴らして学校全体でお祝いの気持ちを表しました。

この「文化の鐘」は、校歌の2番に「文化の鐘は響くなり」と歌われ、Wikipediaによると、「時刻を刻む鐘であり、本校のみならず町のシンボル。戦時中の1941年、金属回収令を受け文化の鐘も押収対象になったが、当時の学内関係者が協同して隠し通した。謂わば、伝説の鐘である。」となっているのですが、現物には「贈 昭和廿参年度卒業生」と記されており、真実はわかりません。昭和20年(1945年)に戦災により校舎が焼失したことに関係するのかもしれませんが、それが分かる資料は残念ながら見つけれませんでした。

しかし、調べれば調べるほどこの歴史と伝統がある日吉台小学校に現在校長としていただけることの幸せを感じました。そして、子どもたちと一緒にこの日吉台小学校をさらによい学校していくように頑張りたいと思っています。

保護者の皆様地域の皆様にも、これからも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

